

2022年3月3日  
東京電力ホールディングス（株）

## 福島第二原子力発電所3号機 第1回定期事業者検査の再延長について

福島第二原子力発電所3号機にて実施中の第1回定期事業者検査において、検査項目「プラスチック固化装置運転状態確認検査（以下「本検査」という。）」の一部設備に不具合が発生し、開始報告時の予定期間内に本検査が終了しないため、検査終了を2022年1月下旬に延長することとしていた。

上記不具合については対応が完了し検査準備を進めていたが、新たな不具合が2件発生したため延長期間内に本検査を終了できないことが判明した。

このため、3号機第1回定期事業者検査の検査終了を2022年4月中旬に変更する。

### 1. 事象発生概要

新たに確認された不具合2件の概要を以下に示す。また、プラスチック固化設備の系統概略図および系統における不具合発生箇所を図1に示す。

#### ①乾燥機排気フィルタユニット（以下「ユニット」という。）のチャコールフィルタ差圧上昇

2021年12月16日、ユニットのチャコールフィルタ差圧計が通常0kPaのところ、0.21kPaに上昇していることが確認された。その後の調査でチャコールフィルタ挿入口に使用しているゴムカバー破損による空気吸い込みが原因と判明したため、ゴムシートの交換を実施。交換後の確認運転を行い、ユニットの状態に異常のないことを2022年1月25日に確認した。

#### ②ドラム缶移送装置（以下「コンベア」という。）の動作不具合

2022年1月13日、充填固化室コンベアEにおける負荷側（コンベア）と駆動側（モーター）間の軸継手において、負荷側軸の回転が駆動側軸と同期していないことが確認された。その後の調査で負荷側チェーンの固着による動作緩慢が確認されたため、当該チェーンの洗浄および注油を行い、コンベア動作良好を2022年2月4日に確認した。なお、恒久対策としてチェーンの新品交換を実施する。

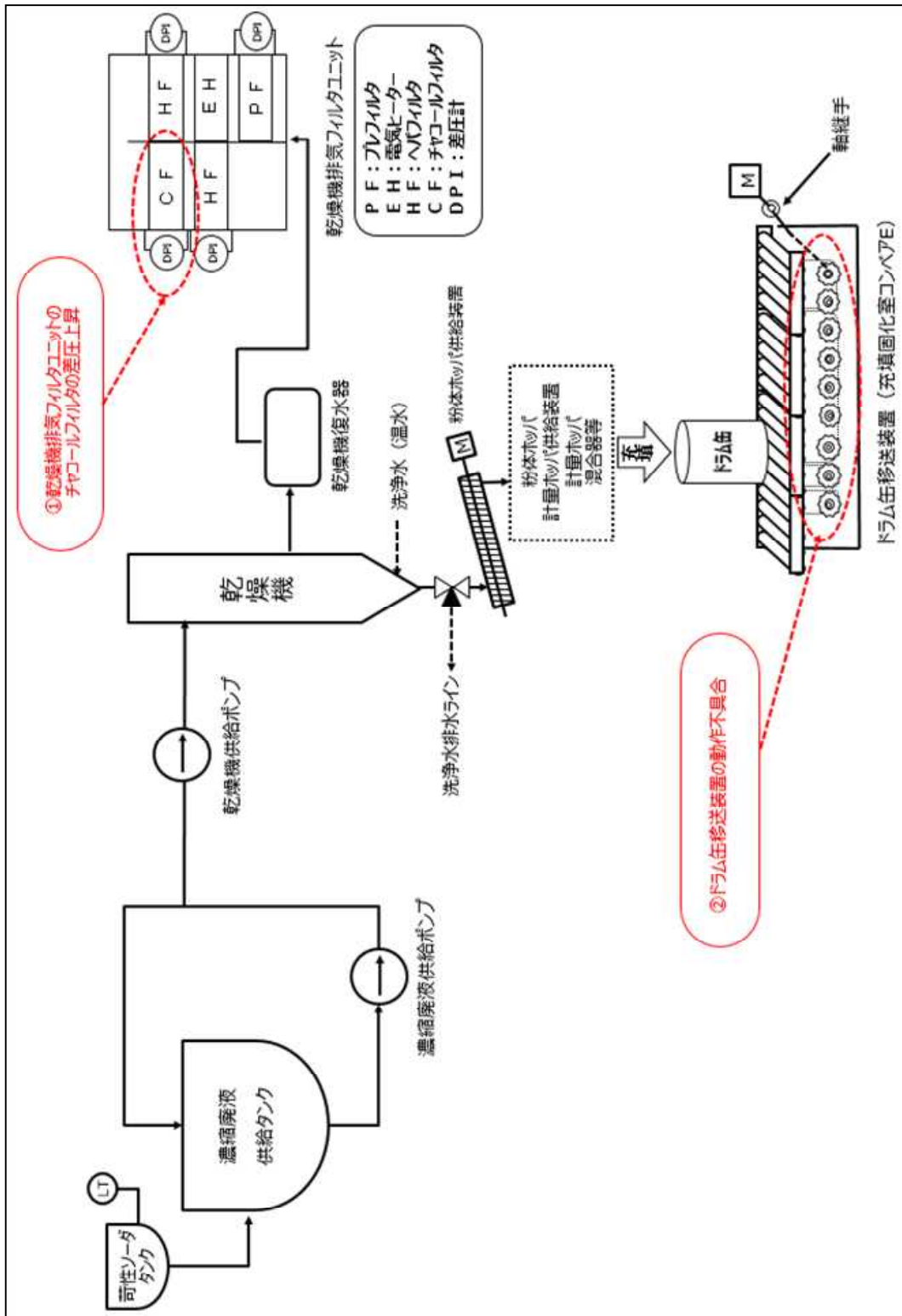


図1. プラスチック固化設備系統概略図

2. 新たな不具合による本検査への影響について

本検査では、ドラム缶充填工程を確認することとしている。1. 事象発生概要で記載した不具合対応後プラスチック固化設備を起動し、ドラム缶充填の前工程として廃液の分析、乾燥および粉体作成工程を2回実施しドラム缶1本分の粉体を作成するのに1ヶ月程要する。更に、恒久対策として実施する不具合チェーンの新品への交換作業の工期が4月中旬までかかることから、本検査の実施が2022年4月中旬となる。

3. 工程変更計画について

	2021年							2022年			
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
当初計画	6/1					11/26					
変更計画 (1回目)	6/1							1月下旬			
変更計画 (今回)	6/1										4月中旬

以上